

## 面識社会

隣近所は、少なくとも顔見知りになるということ。(面識と社会を合わせた造語。一般にはあまり使われていない)

辞書には、「社会性(しゃかいせい、英: sociality または英: sociability、仏: sociabilité)とは集団をつくって生活しようとする人間の持つ基本的な傾向。本能的なものとする説がある」とある。

つまり、人間とは、社会性という本来的に集団を求める動物であると解釈する。

この本能に従えば、隣近所が少なくとも顔見知りの関係にあることは、深層心理では、お方の人々にとって、安心感を抱くなど好ましいことなのではないか。

さらに、このことは、防犯、防災にとっても、大きな力となる。

町内会は、イベント実施などによる住民の直接的な交流も重要であるが、これまであまり注目されていなかった、少なくとも隣近所は顔見知りになるという面識社会の構築も重要となると思う。